# 深浦会東京だより

第10号

深浦会東京 事務局
〒154-0011 東京都
世田谷区上馬4-23-7
トポス. M. 駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483

## 第6回定期総会・交流会

### ――『東京の深浦まつり』盛大に開催――

総会（左から久慈副会長，佐藤顧問，藤田顧問）

「深浦会東京」の第六回定期総会・交流会は、本年5月31日午後1時から東京品川区立総合区民会館「きゅりあん」で、関東在住の深浦出身で構成する会員約四一三名と、故郷の深浦から町・議会や農協、魚協、商工会及び大戸瀬魚協婦人部など六三名が出席し、総勢四七六人が集う、過去最高の参加者で盛大に開催された。

定期総会では、平成9年度活動・会計・監査報告及び平成10年度活動計画や予算案を審議し、議案通り承認された。

平成10年度活動は、①会報「深浦会東京だより」の発行（年二～三回程度）②深浦町広報「ふかうら」への寄稿③深浦町広報「ふかうら」の購読案内の継続④第五回「ちびっこ交流会」の開催（7月31日～8月3日）⑤深浦特産品の販売促進（〝電気まつり〟への取り組み）⑥「深浦町出身大相撲後援会東京支部」（仮称）への支援⑦会員名簿の調査（改訂に向けて）⑧第七回定期総会・交流会の準備など承認された。黒滝進会長は「なつかしい人々との再会は、私たちの励みになるとともに勇気を与えてくれます」と挨拶。引き続き、町の振興・発展の取り組みの紹介を交え平沢敬義町長が「ふるさとの海の幸・山の幸を仲立ちとして大いに故郷深浦を懐かしみながら、交流会を楽しんでください」と述べられた。

交流会は、民謡歌手・初代藤田周次郎さん（当会顧問）の乾杯の音頭で始まり、深浦町・関出身の民謡歌手・福沢久夫氏の民謡や三味線の演奏が行われ、ふるさと直送便「郷土料理」に舌鼓を打ちながら、それぞれに近況を語り合うなど和気藹々とする中で催された。さらに、深浦特産が景品の「福引き大会」など盛りだくさんのイベントの中で、楽しいひとときを過ごした参加者は、それぞれに来年の再会を約束し、会場を後にした。

## 新役員名簿

**顧　問**
平沢敬義（鰕木）
石崎高志（苗代沢）
佐藤　登（浜町）

**会　長**
黒滝　進（浜町）

**副会長**
吉田文雄（田野沢）
久慈諭吉（北金ヶ沢）
小野秋夫（田野沢）

**幹　事**
兼平幸四郎（田野沢）
八木一次（岡町）
松尾理沙（崎町）
飯田　勉（東野）
佐藤完示（浜町）
岩谷　薫（北金ヶ沢）
吉田嘉明（鰕木）
黒滝茂則（追良瀬）
上平京子（北金ヶ沢）
西崎修治（舶作）

**監　査**
上田穆（浜町）
柳野博栄（柳田）

**地区別世話人**
関　・赤平信雄
追良瀬・石沢秀敏
岩　坂・荒井孝子
松　原・田中利通
北金ヶ沢・五十嵐保
晴　山・尾藤祥子
横　磯・関根繁子
風合瀬・山本　剛
広　戸・角谷敏昭
舶作・世永さつえ
柳　田・柳野博栄

## 新役員から一言――

### 故郷深浦に想いを馳せ

副会長　久慈諭吉（北金ヶ沢出身）

昨年の第五回深浦会東京の総会の後、黒滝会長から副会長就任を要請され、今年の第六回総会で皆様の御承認をいただいて副会長になりました。それ迄深浦会東京に対し何一つお手伝いをしていなかった私は、いきなりの要職に大きな不安とまどいを感じてスタートしました。一昨年の秋、当会顧問の旧友石崎博士から、何らかのかたちで当会のお手伝いをするよういわれて、近年とみに故郷深浦に対する想いが強くなっていた私は、一も二もなく承諾していました。けれども最初から副会長とは想像もしていなかったので、今さらながら責任の重さをひしひしと感じています。それでも就任した以上は黒滝会長のもと、微力ですが精一杯頑張っていきますので、皆様何とぞよろしくお願い致します。

### 情報の交換で町の活性化を

幹事　西崎修治（舶作出身）

高校を卒業した後、進学のために上京し、早くも十数年になりますが、現在、在宅医療や介護サービスを行う会社を運営しております。四年前に始めた会社も、徐々に拡大しつつありますが、嬉しさよりも、ただ忙しく、責任だけが重くなっているような毎日を過ごしております。

先日、広報深浦に、今後の自治体の在り方として、「企業と同じように自ら収益を得なければ厳しい時期に入った」という事を載せましたが、第三セクターの㈱ふかうら開発も今年から東京事務所を開設し、観光事業と物産販売に力を入れております。

町と東京在住の我々が、もっと密な情報を交換し合い、故郷を大切に思う事で、深浦町の活性化や雇用促進に役立つ事もあろうかと思います。

幸いにも、東京でご活躍されている先輩方が大勢いらっしゃいますので、少しづつ勉強しながら、できるだけ会に参加し、深浦会東京を継続させていきたいと思います。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 楽しいイベントの企画に注力

幹事　上平京子（北金ヶ沢出身）

今年初め、あるTVで第二の人生に関する番組を見て、私もそのような年代に近付いていますことをあらためて認識致しました。

皆様方にはそれぞれ第二の人生の過ごし方についてのお考えがおありでしょうが、私自身はそれ程おおげさでなく、何か世間のお役に立てばと思っておりました折、黒滝会長より幹事への打診があり、私の主人はまだ現役で活躍中のため、出来る範囲ならということで引受けました。

深浦会東京ではいつも飲んだり、騒いだりしていました私が、今回からは裏方に回り、皆様方のお手伝いをすることになりました。会では故郷への想いを胸に皆様方に楽しく過ごしていただきたいということで、面白い催しを企画し、打合せや準備があり、終わったあとの片付け、反省会など、いろいろあります。諸先輩の暖かいご支援のもと、幹事の一員として精一杯頑張って行きたいと思います。

## ふるさとから参加して

### 楽しく有意義な交流会!!

### 「つるつるわかめ」全国発売へ努力

㈱ふかうら開発取締役
㈲西海建設 代表取締役　山本　尋悦

今日は!!深浦会東京の皆々様方、その節は大変お世話になり、ありがとうございました。深浦は今、山は少しばかり色づき、野では稲刈り、稲こきの真っ最中であります。豊作は望めないものの、やや不作程度であり、過日、全国を走った台風7号、8号から逃れたことを善としなければ、と言いながら農作業に汗を流し頑張っております。私のところでも一昨年より、一反歩で一俵くらいの減となり、自分たちの作るものでさえこのごろの不況の手伝いをしているかのようです。

さて、私の住んでいる風合瀬地区は、戸数二一三戸で人口六八三人　うち男三二九人　女三五四人（60歳以上二三四人、中学生以下八四人）の自治会でありますが、やはり自分たちの自治会でも老人の多さが目立つようになりました。そんな中でも、農業者の後継者はない。一方、漁業を営む人たちには後継者があり、これから底建て網の準備等で忙しい日々を送ります。これからとれるであろう、さけ・ヤリイカなどの魚に期待を懸けて。

自治会長（鈴木清治さん）は住民の苦情を受けては役場に行き、町側の理解を得て、少しずつではありますが住みよい環境作りに努力しておりますので、風合瀬出身の皆様方、常日ごろ電話・手紙は書いているでしょうけれども、季節の移り変わりの美しい風合瀬に、時々でも励ましのメッセージなど一報いただければと思います。

私は深浦会東京に二回ほど出席いたしましたが、風合瀬出身者が大変少なく残念に思っている一人です。深浦会東京にもう少し理解を示して、多数の参加があればと願う気持ちでいっぱいです。二回の出席は㈱ふかうら開発の役員をしており、「つるつるわかめ」を宣伝するための出席でした。ふかうら開発では一年程前に工場を建て「つるつるわかめ」で農林水産大臣賞を受けたのを機に、全国で販売できるよう社長（平沢町長）をはじめとして、役員、従業員が一生懸命頑張っている次第です。いまでは中国いかい市と技術提携し、国際交流にも大きな役割を果たしています。

品川のあの立派な建物の中で、都会人となった深浦会東京の皆様方と会っても変わらず話を出来る言葉「どへらば、げんきでだなぁ…」「今なにしてらば…」と言える会社を経営している人に会いました。以前は一〇人以上の人を連れて来れたが、今は三人～四人位が限度、経営もだんだん厳しくなったと話していました。また、ある主婦と話をすると、「あいの人、どへらばぁ…」「うん、海さ行ったり、山さ行ったりだねぇ」とこのような短い会話の中で、聞かれた家のことをすぐわかってもらえる津軽弁、家庭があればなかなか実家に帰ることは出来ないけど、心にはいつもふるさとがあると話してくれました。私は出席したものの、だれが来るのか分からず心配でしたが、時間のたつのが早く、楽しい楽しい、とても有意義な交流会でありました。深浦会東京の役員の皆様、町企画課の皆様には大変なご苦労があったと思いますが、その分会場の皆様方が楽しんだものと思い、来年に向けて頑張ってください。

更なる発展があることと、幸多かれと願い、末筆ながら深浦会東京の皆様方に夕陽海岸深浦でお祈り申し上げます。

## 皆さん、深浦町からも特産品の出展をいたしますので、ぜひご参加下さい。

**第9回「電気のふるさとじまん市」**

**目　的**
電気地域の豊かな自然やそこに住む人々のたゆまぬ努力と創意工夫によって生み出された特産品の数々、歴史に育まれた郷土芸能等を広く紹介し、電源地域への理解促進と特産品のマーケティング事業を支援するため、市町村PR、販売活動、特産品改良へのアドバイスを実施し、市場進出機会の増大に取り組むこと。

**会　期**
10月30日(金)～11月1日(日)の3日間
10月30日(金)　10：00～18：00
10月31日(土)　10：00～18：00
11月1日(日)　10：00～17：00

**会　場**
日本コンベンションセンター
(幕張メッセ) 国際展示場（No.1，2，3）
千葉県千葉市美浜区中瀬2－1
JR幕張本郷駅下車　バス利用

**主　催**
財団法人　電源地域振興センター

**入場料**
無　料

**開催内容**
1．展示販売出展
2．味じまんの広場出展
3．出展市町村による特別イベント
4．その他

## 総会・交流会より

ふるさとの料理に舌鼓

大福引大会、大当たり!!

福澤さん（関出身）の熱演

## 第四回「ちびっこ交流会」に同行

# 父母の故郷にちびっこ感激

上平京子

この夏、『ちびっこ交流会』の引率者として子供たちに同行し、七月三十一日の羽田空港からの出発、八月三日の同じく羽田空港での解散という三泊四日の短い期間でしたが、無事大役を果たし、今はほっとした気分です。

昔からの諺に『かわいい子には旅をさせよ』とあります。自分のかわいいお子さんがすくすくとたくましく育っていって欲しいと、どの親であれ願っていることでしょうが、それには旅をさせるのが一番。わが子かわいさの余りにどこにでも親が付いて行く、やや過保護の風潮が見られる昨今、親から離れて旅に出し、違った世間や風景、違った人々に接することが子供たちの成長にどれだけプラスになることかと率直に感じました。

今回の参加者の子供たちは上は中学三年生から下は小学校一年生まで総勢十二名。最初の集合から出発の飛行機内では席もばらばらで、やや緊張気味の様子でしたが、青森空港に到着してバスに乗り込んでからは、雰囲気が一変。あちこちの席で話が弾み、笑い声が響くなどもうすっかり仲良し同志、子供らしさが戻りました。今回の旅は子供たちに規律と礼儀作法、チームワークの大事さを徹底することが企画されていました。朝は六時半起床、洗面をすませたあと全員集合してラジオ体操。七時に朝食の席に就く。両手を合わせて『いただきます』と全員で唱和のあと食事。『ごちそうさま』と終わったあとは自分の食器の後片付け。慣れない手つきのお子さんもいましたが、全員、楽しく言いつけられたことは守っていました。かぶと虫探し、芋掘り、バーベキューなど楽しい日程が一杯。すばらしい企画を満喫しました。

とにかく子供たちにとって、父母の故郷の豊かな自然と人々の暖かい心に接し、故郷のありがたさがあらためて身に染み、皆様への感謝の気持ちを強く感じたと思います。

今回の旅は子供たちの将来の人間形成になんらかの形でプラスになったはずです。今後、この催しにもっともっと参加者が増えますことを願います。

子供たちに楽しい思い出と夢を与えてくれました町役場や関係者の皆様方の暖かいおもてなしとすばらしい企画にあらためて厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

羽田空港にて、さあ出発!!

平沢町長に挨拶（町役場にて）

## ちびっこ交流会に参加して

# 語りつくせない楽しさいっぱいの交流会

今 喜美子

楽しかったちびっこ交流会は今日でおわってしまう。私は、中学三年で最後となった。

初日。羽田空港で一緒に行くみんなと会った時、友達、ちゃんとできるかな?!とすごく心配だったけど、すぐにみんなと話せるようになった。それは、みんなが話しかけてくれたからだ。

何が一番楽しかったかと言うとたくさんありすぎです。やぶつばきを植えたり、カブトムシにさわったり、クイズラリーで走りまわったりそのつかれた体で海水浴のウォータースライダーをやりまくった。次の日には、雨の中じゃがいもを掘ったりもした。とてもきれいなねぶたもひっぱった。

四日間でやっぱ一番の思い出は、みんなと友達になったことかもしれない。来年から行けない分、今年たくさんの思い出ができてすごくよかったと思います。青森県深浦町は、私の住んでいる所からすごく遠いので、行きたい時に行けないのがざんねんです。

今度は、家族で来たいです。

海水浴、リォータースライダーだ!!

じゃがいも堀大会に参加

当会顧問、藤田周次郎殿におかれましては、平成10年10月7日逝去されました。

当会発足時よりのご活躍に感謝申し上げると共に、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 事務局からでーす

**1．第9回「電気のふるさとじまん市」開催**

今号に案内させて頂きました「電気のふるさとじまん市」が10月30日から3日間開催されます。深浦町の特産品コーナーもありますので、ぜひご参加下さい。

**2．年会費納入のお願い**

平成10年度分の年会費をまだ振り込み頂いていない方は，郵便振込用紙にて1,000円をお振り込み下さい。
用紙を無くされた方は事務局迄お知らせくだされば送ります。

**3．「広報ふかうら」への投稿のお願い**

当会では，深浦町で毎月発行しております「広報ふかうら」へ，会員の皆様のご意見，ご感想等の投稿をさせて頂いております。
投稿をご希望の方は，事務局迄ご郵送下さい。
- 内容は特に問いません。
- 活字数は800字～1,000字位
- あなたさまの写真を1枚添えてください。

**4．「深浦会東京だより」への投稿のお願い**

年2回発行しております当会の会報への投稿を募集しております。
- 内容は特に問いません。
- 活字数は600字～800字位

**5．住所変更された方へのお願い**

住所，姓名の変わった方は事務局までお知らせ下さい。

**6．広告を募集してます**

当会会報に広告欄を設けましたので，ぜひご活用頂きたいと思います。
申し込みは事務局迄お願いします。

一輝くあおもり新時代一 活彩あおもり

輝くあおもり新時代

# 活彩あおもり大祭典

・青森県文化観光立県宣言記念イベント・

目　的
県、市町村、観光関係団体、農林水産団体、環境関係団体、福祉関係団体、その他の各種団体等をはじめとして、県民一人ひとりが参加する、県民総参加型のイベントを実施し、「文化観光県」を県内外に強くアピールする。

首都圏イベントの概要

1. 時　間　12月4日(金)～12月6日(日)の3日間
12月4日(金)　10：00～19：00
12月5日(土)　10：00～19：00
12月6日(日)　10：00～17：00

2. 場　所　東京ドーム　東京都文京区

3. 主　催　青森県文化観光立県宣言記念イベント実行委員会

4. 入場料　無　料

5. 開催内容
イ．文化観光ゾーン（青森県の多彩な観光資源の紹介）
三内丸山遺跡、世界遺産白神山地、青森県の文化人（太宰治、棟方志功、寺山修司、大町桂月の紹介）
青森ねぶたの展示、囃子実演、跳人体験
弘前ねぷたの展示、囃子実演、八戸三社大祭、五所川原立佞武多

ロ．交流ゾーン（人と人とのふれあい、文化と文化の交流）
各種の実演、体験コーナー

ハ．物産展と商談会ゾーン

ニ．イベントと郷土料理ゾーン
特別ステージ、津軽三味線他のステージが多数

ホ．その他